

シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会学演習(1)(4)	2020	通年	金2	文学部・社会学専攻、 社会情報学専攻(情報コミュニケーションコース)	山田 昌弘	3年次配当	4

履修条件・関連科目等

授業で使用する言語

授業で使用する言語(その他の言語名)

授業の概要

今年のテーマは、「平成家族を振り返る」です。

1989年、バブル経済とともに平成の幕が開き、人口減少の深刻化とともに平成の幕が閉じられました。

平成時代は、「少子高齢化が進んだ時代」「格差が進化した時代」ということができるでしょう。それは、「男は主に仕事で妻が主に家事」という戦後型家族が作りにくくなってきている時代に入ったということです。その結果、戦後型家族を作るよう婚活に励む人々、結婚できずに親にバラサイトしながら、ヴァーチャルな関係を楽しむ若者が増えていますが、一方で、新しい家族の形を試みる若者も現れています。

前期では、私の講義の後、吉見俊也『平成時代』(岩波新書)を読み、平成の30年間の社会変化を読み解きます。そして、新しい家族の試みとして、三浦展『週3日働いて、100万円で暮らす』など新しい家族の試みの実例集、山田昌弘『ペット家族』など、ヴァーチャルな家族にはまる人々の実例集を購読します。割り当てて輪読という形をとります。たくさんの本を読みます。

夏休みに合宿研修を行います。夏休み前には、各人の興味関心に合った課題(本または論文のレポート+フィールドワーク・調査など)を出します。

後期は、前期の購読を継続し、そして、夏休みの実際のフィールドワークの成果を順次各自で発表し、卒業論文執筆に備えます。

原則として、卒業論文執筆を求めます。卒論テーマは、「家族」「女性問題」「若者問題」に関係しているテーマが望ましいです。

特に、ヴァーチャル家族(ペットを家族と見なす、アイドルに恋している、メイドカフェに通うなど)、新しい家族の試み(同性愛結婚、シェアハウス、グループホームなど)に興味を持っている人であれば、うれしいです。

科目目的

現代社会の構造転換の現実が、家族のありかたにどのように影響を与えているかを分析する。そして、家族を作れない人がどのような方向に行くのかを考え、家族の在り方に関する理解を深める。併せて、3年生は、卒業論文の準備に向けた指導を、4年生は卒論に関連した指導を行う。

到達目標

授業計画と内容

輪読をしながら、討論する。4年生は卒論に向けての報告を行う

1. オリエンテーション、各自の家族に対する関心の発表
2. 講義、伝統家族の衰退とバーチャル化、新しい家族?
3. 講読 吉見俊也 『平成時代』 はじめに 平成という失敗
4. 講読 " 1章 没落する企業国家
5. 購読 " その2
6. 購読 " 2章 ポスト戦後政治の幻滅
7. 購読 " その2
8. 購読 " 3章 ショックの中で変容する日本
9. 購読 " その2
10. 講読 " 4章 虚構化するアイデンティティ
11. 講読 " その2
12. 講読 " おわりに
13. 講読 " 『平成時代』のまとめ
14. バーチャル化が多様化か
合宿 新しい家族は可能か? 卒論中間発表
15. 新しい家族に関するオリエンテーション
16. メディアに描かれた新しい家族
17. メディアに描かれた新しい家族
18. 卒論の構成法
19. 新しい家族に関する3年生の報告(3-4名)
20. 新しい家族に関する3年生の報告(3-4名)
21. 新しい家族に関する3年生の報告(3-4名)
22. 卒論中間報告
23. 卒論へ向けての3年生の報告(3-4名)
24. 卒論へ向けての3年生の報告(3-4名)
25. 卒論へ向けての3年生の報告(3-4名)
26. 卒論最終報告
27. 卒論へ向けての3年生の報告(3-4名)
28. 新しい家族の時代は来るのか、総括討論家族の変化変化 まとめ

授業時間外の学修の内容

授業時間外の学修の内容(その他の内容等)

夏休みに合宿を行う。
夏休みに、家族関係の調査を各自行う（3年）
夏休み、後期に メディア分析を一作品以上行う。

授業時間外の学修に必要な時間数/週

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準（備考）

平常点 60% (報告内容、参加度などを考慮する)
学期ごとのレポート 40%
なお、4年次以上で履修する社会学演習（4）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点をくれぐれもご注意ください。

課題や試験のフィードバック方法

課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

アクティブ・ラーニングの実施内容

アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

授業におけるICTの活用方法

授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

実務経験のある教員による授業

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

テキスト
吉見俊也 『平成時代』代 岩波新書
山田昌弘 『家族不要社会』朝日新書（夏休み合宿のテキスト）
後期に関しては、その都度指示する。

その他特記事項

参考URL

コメント1

コメント2

特別期間中は、

1. 教科書と資料配布を中心とした演習とします。
2. 毎回、アンケート、小レポート等の提出を義務付け、出席に代えます。
3. 一部、双方向型のWebexを用いた授業を行います。受講生側の事情を考え、出席には含めないことにします。
4. 三年生には、レジユメの作成を分担して行ってもらいます。
5. 成績は、出席・平常点60%、期末のレポート40%とします。4. 成績は、出席・平常点40%、期末のレポート60%とします。

コメント3

コメント4
